

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道8号 <small>ふくい</small> 福井バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局																										
起終点 自：福井県あわら市 <small>ささおか</small> 笹岡 至：福井県越前市 <small>えちせん</small> 塚原町		延長 42.2km																										
事業概要 一般国道8号は、新潟県新潟市から京都府京都市に至る北陸地方と近畿圏を結ぶ全長約560kmの主要幹線道路である。 福井バイパスは、県都福井市及び隣接市町市街地部の交通混雑の緩和、交通安全の確保、併せて市街地周辺における地域開発の基盤整備等を目的に計画された全長約42kmの道路である。																												
S41年度事業化 (H2年度延伸)	S45～55年度都市計画決定 (H3年度、H8年度変更)	S41年度用地着手 S41年度工事着手																										
全体事業費 ： 880億円 事業進捗率 ： 約89% 供用済延長 ： 36.8km																												
計画交通量 ： 19,800台/日																												
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C</td> <td style="width: 15%;">2.2</td> <td style="width: 15%;">総費用</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 88/2,646億円</td> <td style="width: 15%;">総便益</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 440/5,760億円</td> </tr> <tr> <td>(事業全体)</td> <td></td> <td rowspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事業費：59/2,413億円 維持管理費：30/233億円 </td> <td rowspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 走行時間短縮便益：399/5,113億円 走行経費減少便益：33/585億円 交通事故減少便益：8.6/61億円 </td> <td rowspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 基準年 平成22年 </td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>5.0</td> </tr> </table>	B/C	2.2	総費用	(残事業)/(事業全体) 88/2,646億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 440/5,760億円	(事業全体)		事業費：59/2,413億円 維持管理費：30/233億円	走行時間短縮便益：399/5,113億円 走行経費減少便益：33/585億円 交通事故減少便益：8.6/61億円	基準年 平成22年	(残事業)	5.0	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C</td> <td style="width: 15%;">2.2</td> <td style="width: 15%;">総費用</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 88/2,646億円</td> <td style="width: 15%;">総便益</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 440/5,760億円</td> </tr> <tr> <td>(事業全体)</td> <td></td> <td rowspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事業費：59/2,413億円 維持管理費：30/233億円 </td> <td rowspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 走行時間短縮便益：399/5,113億円 走行経費減少便益：33/585億円 交通事故減少便益：8.6/61億円 </td> <td rowspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 基準年 平成22年 </td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>5.0</td> </tr> </table>	B/C	2.2	総費用	(残事業)/(事業全体) 88/2,646億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 440/5,760億円	(事業全体)		事業費：59/2,413億円 維持管理費：30/233億円	走行時間短縮便益：399/5,113億円 走行経費減少便益：33/585億円 交通事故減少便益：8.6/61億円	基準年 平成22年	(残事業)	5.0
B/C	2.2	総費用	(残事業)/(事業全体) 88/2,646億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 440/5,760億円																							
(事業全体)		事業費：59/2,413億円 維持管理費：30/233億円	走行時間短縮便益：399/5,113億円 走行経費減少便益：33/585億円 交通事故減少便益：8.6/61億円	基準年 平成22年																								
(残事業)	5.0																											
B/C	2.2	総費用	(残事業)/(事業全体) 88/2,646億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 440/5,760億円																							
(事業全体)		事業費：59/2,413億円 維持管理費：30/233億円	走行時間短縮便益：399/5,113億円 走行経費減少便益：33/585億円 交通事故減少便益：8.6/61億円	基準年 平成22年																								
(残事業)	5.0																											
感度分析の結果 ： 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.5(交通量 +10%) B/C=4.5(交通量 -10%) 事業費変動：B/C=4.7(事業費 +10%) B/C=5.3(事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=4.7(事業期間+20%) B/C=5.0(事業期間-20%)																												
事業の効果等																												
①交通混雑の緩和 ・一般国道8号の交通量は増加傾向で交通容量を超過しているが、整備により交通の円滑化が期待できる。 ②地域の活性化 ・福井バイパスの整備とともに沿道に大規模商業施設等が進出しており、地域の活性化が期待される。 ③交通安全の確保 ・当該地域は降雪量が多く歩道未設置区間があるが、堆雪幅、歩道の設置により交通安全の向上が期待できる。 ④高度医療施設へのアクセス向上 ・あわら市～福井県立病院の所要時間が短縮。(27分→25分) ⑤福井港へのアクセス向上 ・福井市～福井港の所要時間が短縮。(52分→50分) ⑥主要観光地へのアクセス向上 ・沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。 (丸岡城：観光客入込数：336千人/年、金津創作の森：観光客入込数：153千人/年) ⑦日常生活圏中心都市へのアクセス向上 ・あわら市～福井市の所要時間が短縮。(31分→29分) ⑧福井港へのアクセス向上 ・福井市～福井港の所要時間が短縮。(52分→50分)																												
関係する地方公共団体等の意見																												
地域から頂いた主な意見等： ・福井バイパス道路建設促進協議会(H7.8設立、あわら市長、あわら市議会議員)より早期整備の要望を受けている。 福井県知事の意見： ・福井バイパスの対応方針(原案)「事業継続」については異存なし。 ・事業実施に当たっては、できる限り早い時期の供用を目指すとともに、一層のコスト縮減に努めること。 また、買収済みの事業用地については、除草等、適切な管理を行うこと。																												

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道8号福井バイパス」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

福井バイパスの供用に伴い、一般国道8号の断面交通量は増加傾向にあり、福井バイパス1工区に並行する一般国道8号では、依然として交通容量を超過している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに36.8kmについて4車線供用済みであり、用地取得は約98%完了。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、歩道計画の見直しや新技術・新工法の活用等により、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

再評価結果(平成23年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道8号 ^{ふくい} 福井バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：福井県あわら市笹岡 至：福井県越前市塚原町	延長	42.2km		

事業概要図

【位置図】



【概要図】

